

米国科学振興協会（AAAS）、2012年度政府研究開発費の分析結果を発表（1月9日）

米国科学振興協会（American Association for the Advancement of Science : AAAS）の研究開発予算・政策プログラム（R&D Budget and Policy Program）は、2012年度予算における研究開発費に関する分析結果を発表した。これによると、2012年度は、基礎・応用研究とエネルギー・環境分野における研究予算が大幅に拡大したものの、研究開発予算全体でみると1.3%減少となるという。また、2012年度における連邦研究開発費総額は1,420億ドルで、2011年度に比べて19億ドル減少となっている。2011年12月の両院協議会において、9分野に亘る1兆ドルの政府予算削減が合意され、オバマ大統領も同合意に署名を行っているが、研究開発分野に関して見ると、この予算削減の影響を大きく受けているのは軍事分野で、同分野の研究開発費は前年度比3.2%減となる25億ドルの削減となっている。なお、AAAS研究開発予算・政策プログラムディレクターのマット・ホリハン氏（Matt Hourihan）は、非軍事分野での研究開発予算は前年度比0.5%増となる2億9,300万ドルの増加となっていると指摘し、科学とイノベーションに対する継続的な支援が行われていることの証であると述べている。

なお、AAASによる2012年度連邦研究開発費分析データは、
<<http://www.aaas.org/spp/rd/fy2012/total12c.pdf>>からダウンロード可能。
また、国防総省の研究開発費予算分析については、
<<http://www.aaas.org/spp/rd/fy2012/dod12c1.pdf>>からダウンロード可能。

American Association for the Advancement of Science, *AAAS Analysis: 2012 R&D Gains for Basic Research, Energy, and Environment; Overall Investment Down*
http://www.aaas.org/news/releases/2012/0109rd_budget.shtml